

4 指標一覧

| 種別 | コード | 指標名 | 出典 | 計画策定時の値 (データの年度) | 目標値 ※1、2 (令和 8～14 年度) |
|---------|------|--|-----------------|--|---|
| がんの未病改善 | | | | | |
| 中間 | C101 | 食塩摂取量の平均値の減少 | 国民健康・栄養調査 | — | 7g未満(R14) ◎かながわ健康プラン 21(第3次) |
| | C102 | 野菜摂取量の平均値の増加 | 国民健康・栄養調査 | — | 350g以上(R14) ◎かながわ健康プラン 21(第3次) |
| | C103 | 1日当たりの純アルコール摂取量が男性 40g以上、女性 20g以上の割合の減少 ①男性 ②女性 | 国民健康・栄養調査 | — | ①15.0% ②7.0% (R14) ◎かながわ健康プラン 21(第3次) |
| | C104 | 運動習慣者(1回 30分以上の運動を週 2回以上実施し、1年以上継続している者)の増加 ①20～64歳 男性の割合 ② 女性の割合 ③65歳以上 男性の割合 ④ 女性の割合 | 国民健康・栄養調査 | — | ①、② 35% ③、④ 55% (R14) ◎かながわ健康プラン 21(第3次) |
| | C105 | 20歳以上の者の喫煙率の減少 ①男性 ②女性 | 国民健康・栄養調査 | — | ①21.5% ②4.4% (R14) ◎かながわ健康プラン 21(第3次) |
| | C106 | 20歳未満の喫煙者の割合の減少 ①男性 ②女性 | 国民健康・栄養調査 | — | ①、② 0%(R14) ◎かながわ健康プラン 21(第3次) |
| | C107 | 肝炎の認知度の向上 | 県民ニーズ調査 | 50.9% (R4) | 60.0%(R9) ◎県肝炎対策推進計画 |
| | C108 | 肝炎ウイルス検査受検率の向上 | 県民ニーズ調査 | 25.5% (R4) | 33.2%(R9) ◎県肝炎対策推進計画 |
| | C109 | がん検診受診率の向上 ①胃がん(男性/女性)②大腸がん(男性/女性)③肺がん(男性/女性)④乳がん(女性) ⑤子宮頸がん(女性) | 国民生活基礎調査 | ①49.6% /36.2% ②50.6% /44.2% ③54.9% /45.4% ④48.3% ⑤43.7% (R4) | ①～⑤ 60%(R10) ◎国民生活基礎調査 |
| | C110 | 精密検査受診率の向上 ①-1 胃がん/X線 ①-2 胃がん/内視鏡②大腸がん③肺がん④乳がん⑤子宮頸がん | 地域保健・健康増進事業報告 | ①-1 65.9% ①-2 95.3% ② 59.6% ③ 84.2% ④ 87.2% ⑤ 63.3% (R1) | ①～⑤ 90% |
| | C111 | 市町村の「事業評価のチェックリスト」全項目実施割合の増加 | 市町村チェックリスト実施率調査 | ①64.3% /65.6%(X線) 58.9%(内視鏡) | ①～⑤ すべて 80% |

| 種別 | コード | 指標名 | 出典 | 計画策定時の値 (データの年度) | 目標値 ※1、2 (令和 8～14 年度) |
|---------|------|---|-------------------|--|--------------------------|
| | | | | ②63.2% /66.0% ③63.9% /62.1% ④63.8% /62.4% ⑤62.6% /63.4% (R4) | |
| 分野別 | B101 | がん種別年齢調整罹患率 ①胃がん(男性/女性)②大腸がん(男性/女性)③肺がん(男性/女性)④乳がん(女性)⑤子宮頸がん(女性) | 全国がん登録 | ①59.4/21.4 ②73.1/45.5 ③58.0/24.5 ④108.3 ⑤12.7 (R1) | 現状より減少 |
| がん医療の提供 | | | | | |
| 初期 | D201 | がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けた患者の割合 | 患者体験調査 | 34.9% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | D202 | 拠点・指定病院の緩和ケアチーム新規診療症例数 | がん診療連携拠点病院等の現況報告書 | 5,257件 (R3) | 現状より増加 |
| | D203 | 緩和ケア外来への地域の医療機関からの年間新規紹介患者数 | がん診療連携拠点病院等の現況報告書 | 660件 (R3) ※拠点病院のみ | 現状より増加 |
| 中間 | C201 | 担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合 | 患者体験調査 | 78.7% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C202 | 主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合 | 患者体験調査 | 48.8% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C203 | 身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合 | 患者体験調査 | 46.5% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C204 | がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じる患者の割合 | 患者体験調査 | 76.3% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C205 | 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じている患者の割合 | 患者体験調査 | 47.7% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C206 | 医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合 | 患者体験調査 | 71.9% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C207 | がん相談支援センターにおける「妊孕性・生殖機能」に関する相談件数 | がん診療連携拠点病院等の現況報告書 | 67件 (R3) ※拠点病院のみ | 現状より増加 |
| 分野別 | B201 | がんの診断・治療全体の総合評価 | 患者体験調査 | 7.9% (H30) ※全国データ | 現状より向上 |
| | B202 | 若年がん患者のがんの診断・治療全体の総合評価 | 患者体験調査 | 7.8% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | B203 | 一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合 | 患者体験調査 | 75.6% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |

| 種別 | コード | 指標名 | 出典 | 計画策定時の値 (データの年度) | 目標値 ※1、2 (令和 8～14 年度) |
|-------|------|--------------------------------------|-------------------|----------------------------|--------------------------|
| | B204 | 治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合 | 患者体験調査 | 75.0% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | B205 | 身体的な苦痛を抱える患者の割合 | 患者体験調査 | 55.4% (H30) ※全国データ | 現状より減少 |
| | B206 | 精神心理的な苦痛を抱える患者の割合 | 患者体験調査 | 62.0% (H30) ※全国データ | 現状より減少 |
| | B207 | 治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けた患者・家族の割合 | 患者体験調査 | 52.0% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| がんと共生 | | | | | |
| 初期 | D301 | がん相談支援センターにおける就労に関する相談件数 | がん診療連携拠点病院等の現況報告書 | 689 件 (R3) ※拠点病院のみ | 現状より増加 |
| | D302 | 社会保険労務士派遣回数 | 県事業 | 134 回 (R4) | 現状より増加 |
| | D303 | かながわ治療と仕事の両立推進企業認定件数 | 県事業 | 194 件 (R4) | 430 件 (R9) |
| | D304 | がん相談支援センターにおけるアピアランスに関する相談件数 | がん診療連携拠点病院等の現況報告書 | 6,065 件 (R3) ※拠点病院のみ | 現状より増加 |
| | D305 | 退院調整支援担当者を配置している一般診療所数・病院数 | 厚生労働省、医療施設調査 | 168 (R3) | 現状より増加 |
| | D306 | 訪問診療を実施している診療所・病院数 | 厚生労働省、NDB | 1,452 (R3) | 現状より増加(R8) (※2) |
| | D307 | 往診を実施している診療所・病院数 | 厚生労働省、NDB | 3,160 (R3) | 現状より増加(※2) |
| | D308 | 在宅看取りを実施している診療所・病院数 | 厚生労働省、NDB | 782 (R3) | 現状より増加(※2) |
| 中間 | C301 | がん相談支援センターについて知っている患者の割合 | 患者体験調査 | 66.4% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C302 | がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じる患者の割合 | 患者体験調査 | 76.3% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C303 | ピアサポーターについて知っている患者の割合 | 患者体験調査 | 27.3% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C304 | 治療開始前に、就労継続について説明を受けた患者の割合 | 患者体験調査 | 39.5% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C305 | がんと診断後も仕事を継続している患者の割合 | 患者体験調査 | 26.0% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C306 | 退職した患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合 | 患者体験調査 | 16.5% (H30) ※全国データ | 現状より減少 |
| | C307 | 治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合 | 患者体験調査 | 36.1% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C308 | 治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされていた患者の割合 | 患者体験調査 | 65.0% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |

| 種別 | コード | 指標名 | 出典 | 計画策定時の値 (データの年度) | 目標値 ※1、2 (令和8～14年度) |
|-----|------|---|-----------|--|------------------------|
| | C309 | 外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談できた患者の割合 | 患者体験調査 | 28.3% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | C310 | 退院支援を受けた患者数(レセプト件数) | 厚生労働省、NDB | 27,571件 (R3) | 36,118件(R8) (※2) |
| | C311 | 訪問診療を受けた患者数(レセプト件数) | 厚生労働省、NDB | 1,014,627件 (R3) | 1,329,161件(R8) (※2) |
| | C312 | 往診を受けた患者数(レセプト件数) | 厚生労働省、NDB | 17,508件 (R3) | 22,935件(R8) (※2) |
| 分野別 | B301 | がん相談支援センターを利用して役に立った患者の割合 | 患者体験調査 | 73.0% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | B302 | ピアサポーターを利用して役に立った患者の割合 | 患者体験調査 | 73.6% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | B303 | 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じている患者の割合 | 患者体験調査 | 47.7% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | B304 | 治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合 | 患者体験調査 | 75.0% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |
| | B305 | 治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念した患者の割合 | 患者体験調査 | 4.9% (H30) ※全国データ | 現状より減少 |
| | B306 | 金銭的負担が原因で生活に影響があった患者の割合 | 患者体験調査 | 26.9% (H30) ※全国データ | 現状より減少 |
| | B307 | 身体的・精神心理的な苦痛により日常生活に支障を来している患者の割合 | 患者体験調査 | 69.2% (H30) ※全国データ | 現状より減少 |
| 最終 | A101 | がんの年齢調整罹患率 | 全国がん登録 | 386.1 (R1) | 現状より減少 |
| | A001 | がんの年齢調整死亡数 | 人口動態統計 | 65.8人 (R3) | 57.3人 (R9) |
| | A201 | がん種別5年生存率 ①胃がん(男性/女性)②大腸がん(男性/女性)③肺がん(男性/女性)④乳がん(女性)⑤子宮頸がん(女性) | 全国がん登録 | ①62.9% /59.4% ②69.3% /67.7% ③93.5% /93.9% ④69.8% ⑤75.4% | 現状より増加 |
| | A301 | 現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合 | 患者体験調査 | 70.5% (H30) ※全国データ | 現状より増加 |

※1 目標値欄における「◎」は、記載の関連計画で当該目標値及び目標年度を設定している場合、または記載の調査が実施される年度を目標年度としていることを示している。

※2 在宅医療においては、介護保険事業(支援)計画との整合性を確保する観点から、国の指針(在宅医療の体制構築に係る指針)において、令和8年度末までの3年間で目標値を設定することとされている。